

職員の自己評価票（児童心理治療施設）

実施時期： 令和3年1月5日（火）～令和3年1月15日（金）

調査数： 21人 / 回答数： 21人 /

※a、b、c のいずれかで回答してください。

- a) 行っている（75%以上）
- b) 行っているが不十分
- c) 行っていない（25%未満）

共通評価基準（45項目）I 治療・支援の基本方針と組織

1 理念・基本方針

(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		a	b	c	回答なし	【判断した理由・特記事項等】
①	1 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	95%	5%	0%	0%	・所内で確認する場面が何度かあった。 ・所内に掲示されている。

2 経営状況の把握

(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		a	b	c	回答なし	【判断した理由・特記事項等】
①	2 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	86%	14%	0%	0%	
②	3 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	86%	14%	0%	0%	

3 事業計画の策定

(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		a	b	c	回答なし	【判断した理由・特記事項等】
①	4 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	86%	14%	0%	0%	・開設初年度のため検討中である。
②	5 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	86%	14%	0%	0%	・開設初年度のため検討中である。
(2) 事業計画が適切に策定されている。		a	b	c	回答なし	【判断した理由・特記事項等】
①	6 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	81%	19%	0%	0%	
②	7 事業計画は、子どもや保護者等に周知され、理解を促している。	43%	52%	5%	0%	・子どもは幼少であり、被虐待児という状況のため保護者への周知は難しい。

4 治療・支援の質の向上への組織的・計画的な取組

(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		a	b	c	回答なし	【判断した理由・特記事項等】
①	8 治療・支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	95%	5%	0%	0%	・自立支援計画の見直しを定期的に行われ、申し送り、治療支援検討会議等で情報共有や支援の見直しについて話し合いができています。・研修の機会が十分に与えられている。
②	9 評価結果にもとづき施設として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	71%	29%	0%	0%	

II 施設の運営管理

1 施設長の責任とリーダーシップ

(1) 施設長の責任が明確にされている。		a	b	c	回答なし	【判断した理由・特記事項等】
①	10 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	100%	0%	0%	0%	
②	11 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	100%	0%	0%	0%	
(2) 施設長のリーダーシップが発揮されている。		a	b	c	回答なし	【判断した理由・特記事項等】
①	12 治療・支援の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	90%	10%	0%	0%	・経験不足は否めない。 ・方向性、現状などその都度説明がある。
②	13 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	95%	5%	0%	0%	

2 福祉人材の確保・育成

(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		a	b	c	回答なし	【判断した理由・特記事項等】
①	14 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	71%	29%	0%	0%	・県の人事なので取り組みに関しては不明。
②	15 総合的な人事管理が行われている。	76%	24%	0%	0%	
(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。						【判断した理由・特記事項等】
①	16 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	86%	10%	5%	0%	・児童から暴力によるケガへの対応が現状あいまいになっている印象がある。
(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		a	b	c	回答なし	【判断した理由・特記事項等】
①	17 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	86%	14%	0%	0%	
②	18 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	100%	0%	0%	0%	・S V等が年間計画で立案され、実施されている。 ・S Vが定期的実施され、良い学びの機会になっている。
③	19 職員一人ひとりの教育・研修等の機会が確保されている。	81%	19%	0%	0%	
(4) 実習生等の治療・支援に関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		a	b	c	回答なし	【判断した理由・特記事項等】
①	20 実習生等の治療・支援に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	19%	57%	19%	5%	・学生実習はあったがコロナ対策中であり、積極的には行えていない。 ・今から取り組むところが大きい。 ・心理職については受入体制の検討をしていきたい。

3 運営の透明性の確保

(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		a	b	c	回答なし	【判断した理由・特記事項等】
①	21 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	76%	24%	0%	0%	・インターネット、広報
②	22 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	76%	24%	0%	0%	

4 地域との交流、地域貢献

(1) 地域との関係が適切に確保されている。		a	b	c	回答なし	【判断した理由・特記事項等】
①	23 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	14%	43%	38%	5%	・コロナ感染防止のため交流は難しい。
②	24 ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	5%	43%	48%	5%	・コロナ感染防止のため受け入れは難しい。 ・今後は受入体制を検討していきたい。
(2) 関係機関との連携が確保されている。		a	b	c	回答なし	【判断した理由・特記事項等】
①	25 施設として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	71%	29%	0%	0%	・児童相談所との関係性においては課題が大きい。
(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		a	b	c	回答なし	【判断した理由・特記事項等】
①	26 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	26%	33%	19%	0%	・コロナ対策で不可。 ・開設後間もない。 ・児童相談所との連携。
②	27 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	38%	43%	19%	0%	・コロナ対策で不可。・開設後間もない。 ・地域のニーズに応えるためのシステム作りをしているところ。

III 適切な治療・支援の実施

1 子ども本位の治療・支援

(1) 子どもを尊重する姿勢が明示されている。		a	b	c	回答なし	【判断した理由・特記事項等】
①	28 子どもを尊重した治療・支援の実施について共通の理解をもつための取組を行っている。	100%	0%	0%	0%	・1人1人に寄り添って、気持ちを大切にしていると思う。 ・申し送り、治療支援会議の実施。
②	29 子どものプライバシー保護に配慮した治療・支援が行われている。	100%	0%	0%	0%	
(2) 治療・支援の実施に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		a	b	c	回答なし	【判断した理由・特記事項等】
①	30 子どもや保護者等に対して治療・支援の利用に必要な情報を積極的に提供している。	81%	19%	0%	0%	・措置の状況に応じて
②	31 治療・支援の開始・過程において子どもや保護者等にわかりやすく説明している。	81%	19%	0%	0%	・保護者も子どもも治療動機付けが乏しいまま利用となっているケースの対応が難しい。 ・説明できるケースとそうでないケースはあるものの、できるケースは実施している。 ・説明はしているがどこまで理解できているか疑問あり。 ・概ね説明共有しているがもう少しできると良い。
③	32 治療・支援の内容や措置変更、地域・家庭への移行等にあたり治療・支援の継続性に配慮した対応を行っている。	76%	10%	14%	0%	・1名の中学卒業後について対応している。 ・まだ退所ケースがない。
(3) 子どもの満足の向上に努めている。		a	b	c	回答なし	【判断した理由・特記事項等】
①	33 子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	90%	10%	0%	0%	・検討や改善などその都度考えられている。 ・長期休暇中のイベントやサークル等を実施。

(4) 子どもが意見を述べやすい体制が確保されている。		a	b	c	回答なし	【判断した理由・特記事項等】
①	34 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	90%	10%	0%	0%	・意見箱の活用だけでなく、個々のやりとりをていねいに行っていると思う。
②	35 子どもが相談や意見を述べやすい環境を整備し、子ども等に周知している。	90%	10%	0%	0%	
③	36 子どもからの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	90%	10%	0%	0%	
(5) 安心・安全な治療・支援の実施のための組織的な取組が行われている。		a	b	c	回答なし	【判断した理由・特記事項等】
①	37 安心・安全な治療・支援の実施を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	95%	5%	0%	0%	
②	38 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	95%	5%	0%	0%	・分かりやすいマニュアル化されている。
③	39 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的にしている。	100%	0%	0%	0%	

2 治療・支援の質の確保

(1) 治療・支援の標準的な実施方法が確立している。		a	b	c	回答なし	【判断した理由・特記事項等】
①	40 治療・支援について標準的な実施方法が文書化され治療・支援が実施されている。	76%	24%	0%	0%	・来年度に向け作成予定。 ・開設後間もない
②	41 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	86%	14%	0%	0%	・開設後間もない
(2) 適切なアセスメントにより自立支援計画が策定されている。		a	b	c	回答なし	【判断した理由・特記事項等】
①	42 アセスメントにもとづく個別的な自立支援計画を適切に策定している。	100%	0%	0%	0%	
②	43 定期的に自立支援計画の評価・見直しを行っている。	90%	10%	0%	0%	
(3) 治療・支援の実施の記録が適切に行われている。		a	b	c	回答なし	【判断した理由・特記事項等】
①	44 子どもに関する治療・支援の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	90%	10%	0%	0%	・記録の回覧がされている。
②	45 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	95%	5%	0%	0%	

□

内容評価基準（20項目）A-1 子どもの最善の利益に向けた治療・支援

(1) 子どもの尊重と最善の利益の考慮		a	b	c	回答なし	【判断した理由・特記事項等】
①	A1 一人ひとりの子どもの最善の利益を目指した治療・支援が、総合環境療法を踏まえた多職種連携の取り組みで実践されている。	86%	14%	0%	0%	・開設後間もない。 ・家庭状況によっては難しい場合もあるが、学校との連携を密に行うことができている。
②	A2 子どもと職員との間に信頼関係を構築し、生活体験を通して発達段階や課題を考慮した支援を行っている。	95%	5%	0%	0%	・振り返りなど時間が多く確保されていて、職員間で上表共有し、改善、対応策を考えられる時間が十分あって良い。
③	A3 子どもの発達段階に応じて、さまざまな生活技術が身に付くよう支援している。	90%	10%	0%	0%	・振り返りなど時間が多く確保されていて、職員間で上表共有し、改善、対応策を考えられる時間が十分ある。
④	A4 子どもに暴力・不適応行動などの行動上の問題があった場合には、適切に対応している。	71%	29%	0%	0%	・そういう事例はないが対応については計画している。 ・もう少し明文化等した方が良いかもしれない。 ・暴言・暴力の理解と対応について引き続き研修を受けた。

(2) 子どもの意向への配慮や主体性の育成		a	b	c	回答なし	【判断した理由・特記事項等】
①	A5 日常生活のあり方について、子ども自身が自分たちのこととして主体的に考えるよう支援している。	76%	24%	0%	0%	
②	A6 子どもの協調性を養い、他者と心地よく過ごすためのマナーや心遣いができるように支援している。	76%	24%	0%	0%	
(3) 子どもの権利擁護・支援		a	b	c	回答なし	【判断した理由・特記事項等】
①	A7 子どもの権利擁護に関する取り組みが徹底されている。	90%	10%	0%	0%	・職員主体になってしまう場面もある。
②	A8 子どもに対し、権利について正しく理解できるよう支援している。	76%	24%	0%	0%	
(4) 被措置児童虐待の防止等		a	b	c	回答なし	【判断した理由・特記事項等】
①	A9 子どもに対する不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。	90%	10%	0%	0%	対応はしているが、まだ75%までは達していない。

A-2 生活・健康・学習支援

(1) 食生活		a	b	c	回答なし	【判断した理由・特記事項等】
①	A10 食事をおいしく楽しく食べられるよう工夫し、栄養管理にも十分な配慮を行っている。	95%	5%	0%	0%	・食事内容を評価できる仕組みがある。
(2) 衣生活		a	b	c	回答なし	【判断した理由・特記事項等】
①	A11 子どもが衣習慣を習得し、衣服を通じて適切に自己表現できるように支援している。	86%	14%	0%	0%	・一部拘りからTPOにあった衣服調整が難しい児童もいる。
(3) 住生活		a	b	c	回答なし	【判断した理由・特記事項等】
①	A12 居室等施設全体を、生活の場として安全性や快適さに配慮したものにしている。	95%	5%	0%	0%	・個別の状況に対応できるだけの職員数が確保されている。
②	A13 発達段階に応じて居室等の整理整頓、掃除等の習慣が定着するよう支援している。	95%	5%	0%	0%	・個別の状況に対応できるだけの職員数が確保されている。
(4) 健康と安全		a	b	c	回答なし	【判断した理由・特記事項等】
①	A14 発達段階に応じて、身体の健康（清潔、病気、事故等）について自己管理ができるよう支援している。	95%	5%	0%	0%	・個別の状況に対応できるだけの職員数が確保されている。
②	A15 医療機関と連携して一人ひとりの子どもに対する心身の健康を管理するとともに、異常がある場合は適切に対応している。	100%	0%	0%	0%	・個別の状況に対応できるだけの職員数が確保されている。
(5) 性に関する支援等		a	b	c	回答なし	【判断した理由・特記事項等】
①	A16 子どもの年齢・発達段階等に応じて、性をめぐる課題に関する支援等の機会を設けている。	43%	43%	14%	0%	・性教育をどのように進めるかということは今後の課題である。
(6) 学習支援、進路支援等		a	b	c	回答なし	【判断した理由・特記事項等】
①	A17 学習環境の整備を行い、学力等に応じた学習支援に取り組み、「最善の利益」になかった進路の自己決定ができるよう支援している。	90%	10%	0%	0%	・個別の状況に対応できるだけの職員数が確保されている。

A-3 通所支援

(1) 通所による支援		a	b	c	回答なし	【判断した理由・特記事項等】
①	A18 施設の治療的機能である生活支援や心理的ケアなどにより、通所による支援を行っている。	90%	0%	5%	5%	

A-4 支援の継続性とアフターケア

(1) 親子関係の再構築支援等		a	b	c	回答なし	【判断した理由・特記事項等】
①	A19 施設は家族との信頼関係づくりに取り組み、家族からの相談に応じる体制を確立し、家族関係の再構築に向けて支援している。	76%	14%	5%	5%	・開設後間もない。・親支援が難しい場合はあるが、CWを通して情報提供を行っている。・対象家庭に対しては行い始めている。
②	A20 子どもが安定した生活を送ることができるよう退所後の支援を行っている。	33%	19%	29%	19%	・開設初年度のため退所児童の該当ない。 ・今後退所ケースが出てきたところで支援体制を検討していく。